

個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	総社南高等学校			所在地	総社市三輪626-1		
敷地面積	43,055.00 m ²			棟数	20 棟 (計画記載対象 8 棟)		
延床面積	14,843.37 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度6強		津波 -		浸水 2.0m以上5.0m未満			
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率100%						
エネルギー使用量 (2019年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	183,430 kwh	1,633 m ³	5,912 m ³	144 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 総社市指定緊急避難場所・指定避難所(地震・水害・土砂災害)						

1 施設内建物の概況

名 称	特別教室棟(1棟)1	中央渡り廊下(9棟)	普通教室棟(8棟)4
築年(西暦)	1986年	1986年	1986年
構 造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	1254.28 m ²	120.94 m ²	754.54 m ²
延床面積	5030.35 m ²	224.73 m ²	2369.59 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 化学教室 LL教室	廊下	普通教室 多目的教室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	昇降機設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理棟(7棟)3	体育館(4棟)8	武道場(12棟)9
築年(西暦)	1986年	1986年	1988年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	1089.36 m ²	1413.08 m ²	384.32 m ²
延床面積	3150.40 m ²	1690.16 m ²	441.31 m ²
主要な用途 (室名等)	事務室 職員室 書道教室	体育館	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁 空調設備	外壁	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	自転車置場(5棟)	自転車置場(5-2棟)
築年(西暦)	1986年	1988年
構造	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	387.00 m ²	258.00 m ²
延床面積	775.63 m ²	516.63 m ²
主要な用途 (室名等)	自転車置場	自転車置場
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	高	高
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ		
長期使用の適否	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(1棟)1	設備等の定期更新を行う。 長寿命化改修を行う。
中央渡り廊下(9棟)	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(8棟)4	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。 長寿命化改修を行う。
管理棟(7棟)3	予防保全を図る。
体育館(4棟)8	設備等の定期更新を行う。 長寿命化改修を行う。
武道場(12棟)9	予防保全を図る。
自転車置場(5棟)	予防保全を図る。
自転車置場(5-2棟)	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
内部・外部の改修を行う。
(1,9棟)2022年度以降設計・施工 (8棟)2024年度以降設計・施工 (4棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟(1棟)1	設備等の定期更新					屋上防水					
	長寿命化改修						設計・施工 8				
中央渡り廊下(9棟)	長寿命化改修						設計・施工 1棟に含める				
普通教室棟(8棟)4	設備等の定期更新					トイレ洋式化		トイレ改修			
	長寿命化改修							設計・施工 3			
管理棟(7棟)3	予防保全				予防保全を図る。						
体育館(4棟)8	設備等の定期更新							屋根改修 照明LED化			
	長寿命化改修							設計・施工			
武道場(12棟)9	予防保全				予防保全を図る。						
自転車置場(5棟)	予防保全				予防保全を図る。						
自転車置場(5-2棟)	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

総額 15億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R5.3	普通教室棟(8棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	体育館(4棟)において、設備等の定期更新を追加